

リウマチ膠原病センターで関節リウマチの治療を受けておられる患者さんへ
【臨床研究への協力のお願い】

松山赤十字病院リウマチ膠原病センターでは、「関節リウマチ患者における下肢人工関節置換術の上肢機能への影響：前向きコホート研究」という臨床研究を行っております。

痛みなどの症状を伴う膝関節・股関節の変形に対しては、人工関節置換術が広く行われており、手術により下肢の症状や機能の改善が得られることが分かっています。また関節リウマチ患者さんにおいては、手術によりリウマチそのものの状態も改善するといわれています。

一方、下肢人工関節置換術を行う際は下肢の症状や機能の変化が注目されがちですが、特に関節リウマチ患者さんにおいては、上肢への負荷の変化に加えてリウマチの状態の変化により、上肢にも手術の影響が生じている可能性は高いものと考えられます。しかし、その影響については十分に調査が行われていないのが現状です。

この研究はその影響について明らかにし、今後の治療のタイミングや内容を最適化するための一助とすることを目的としています。

そのため、以下のような患者さんに対し、臨床研究への協力をお願いする場合があります。

- 松山赤十字病院リウマチ膠原病センターに関節リウマチのため通院されている患者さんで、下肢人工関節置換術(人工膝関節置換術・人工股関節置換術)の対象となると診断された方

この研究への参加に同意いただいた場合は、必要なカルテ情報を取得します。また、通常診療での問診に加え、いくつかのアンケートにお答えいただきます。

以下の内容を確認してください。

- 今回の臨床研究は松山赤十字病院医療倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間：承認日～2025年3月31日まで

- 研究のために新たな検査や費用が生じることはなく、またデータを使用させていただいた患者さんへの謝礼などありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化（非個人情報化）または符号や番号を付し、個人情報に関連する事項全てを保護します。
- 研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

2023年9月25日

- 研究の結果、特許権などの知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利はあなたには帰属しません。
- この臨床研究は、松山赤十字病院リウマチ膠原病センターの研究費および京都大学教育用経費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
- 同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

松山赤十字病院 リウマチ膠原病センター

研究責任者：リウマチ膠原病センター 部長 水木 伸一

研究担当者：京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 大学院生 池内 寛子

TEL：089-924-1111(代) FAX：089-922-6892(代)